

NTN(株)宝塚製作所跡地等 利活用について

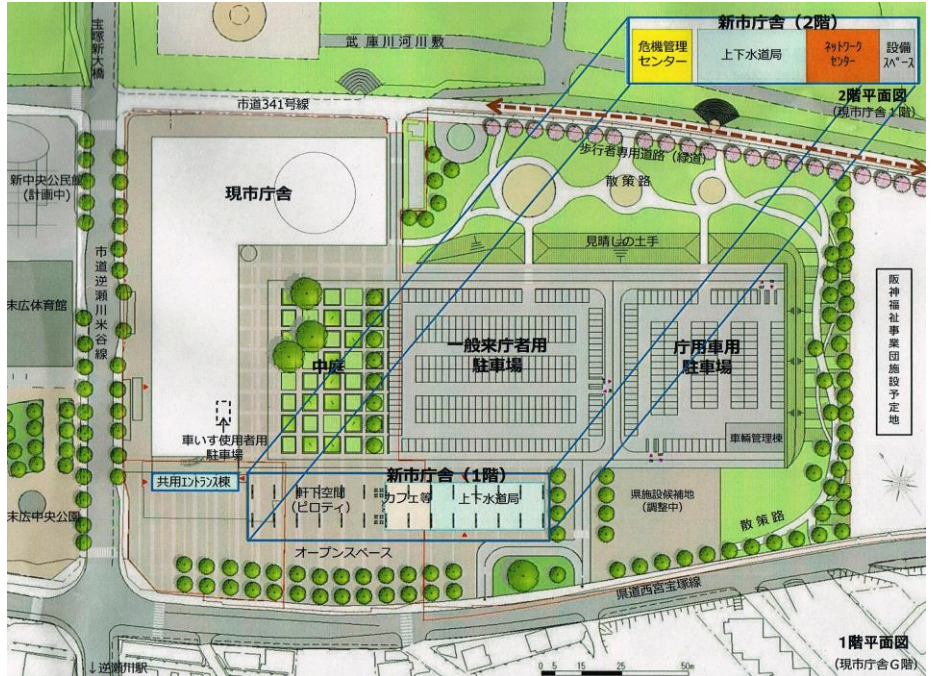
このほど、当局から、NTN(株)宝塚製作所跡地利活用方針が発表されました。整備工事は平成29年度から平成31年度に予定されています。これまで一般質問等を通して、「大きな水道局は必要無い。今は財政的に無理でも、いずれ大型ホール(大型体育館)の建設可能な用地だけは確保しておくべき。」と申し上げて参りましたが、今回の計画では水道局庁舎を小さくして、駐車場とし、将来に夢を残せる形になりました。

ただし、新中央公民館・ガーデンフィールズ跡地などの建設も決まり、大きな買い物をし続けてきましたが、一方で公共施設マネジメント計画が始まりました。

施設の老朽化によってどの施設を統廃合して行くかは総論賛成、各論反対の典型例になる可能性があります。

公共施設の統廃合にあたっては、科学的な視点に立ち、納得のゆく説明を市民にしなければなりません。

作る過程は楽しいですが、それには持続可能にする財政のコントロールをきっちり行うことが必要です。



※これらの図は現時点のもので確定ではありません